



研究所だより

第117号 令和2年7月
発行:草津市立教育研究所



「不測の事態と学校教育のパラダイムシフト」

草津市教育委員会事務局
学校教育課長 作田 まさ代

令和2年6月1日。

子どもたちも先生方も、さまざまな思いを抱いて、この日を迎えられたことでしょう。

学校から子どもの声が消えるという不測の事態が発生して以来、地域の感染状況や子どもたちの状況を考慮しながら、逸る気持ちを抑えながらも、段階を追って教育活動の再開をめざしてきました。

「**学びを止めない**」を合言葉としながらも、絶えず「正解のない問い」に答えなければならない日々でした。…やりきれないな。…きっと、子どもたちもこんな気持ちを抱いて毎日を送っていたのではないかと、ふと、思いました。

奇しくも、平成29年3月に告示された新しい学習指導要領の考え方では、答えが1つではなく、複数存在したり、場合によっては正解がなかったりする問題に対して解決を図る力の必要性が記されています。草津市でも本年度の市教委の方針として「**学び手改革**」を掲げ、学校での授業を通して得た学びのサイクルを家庭学習や生涯にわたる学びで発揮できる「**アクティブ・ラーナーの育成**」を目標に各校で取り組んでいただいているところです。

時代は、「正解のない問い」とともに生きることを求めているのです。これまでの学校教育が、「答えを出す→間違えずに進める→役割で結果を出す」ことで対応してきたことが、「事態から自ら問いを設定する→失敗から学ぶ→相互に関係する過程から新たなものを生み出す」へとパラダイムシフトが起きているのです。

そういう意味では、今回のコロナ禍からは、多くのことを学べたと感じています。正解もなく、価値観も多岐にわたる状況で、多くの情報を収集し処理する能力ではなく、複数の考え方、知恵や技術などを取り込んで情報を編集し、できるだけ多くの人が納得できる答えを出すことの重要性を、身をもって体験できたことも、一つの成果であったと捉えています。「やりきれない」と感じた自分は、正解を速く出すことだけに注力する、これまでの社会や教育の在り方から脱し切れていないことにも気づかされました。

学校現場でもこうした潮流を子どもたちや保護者、地域に納得してもらえる取組や啓発をはじめていかなければなりません。それは、GIGA スクール構想で計画された ICT 機器を活用したオンライン教育等、学習方法の変革だけにはとどまりません。

「失敗」という最も学べる機会を教師がどう活かした授業をするのか、はっきり答えが出ない中で、子どもたちの「わかった感」をどう高めるかなど、子どもたちにゆっくりと気づかせ、学び方を変えていく必要があります。

不測の事態の真ただ中であって、残された本年度の10カ月、学校教育に対する意識の変革と今後につながる新たな実践をはじめめる好機です。試行錯誤しながら、先生方と相互に関係する過程からより納得できる答えを生み出すことを本年度の基本にしていきたいと思います。

令和２年度 校内研究主題

本年度の各小中学校の校内研究の研究主題を紹介します。研究内容や取り組みの情報交換に活用して、草津市内全体の指導力の向上を目指しましょう。

学校名	研究主題	教科等
志津小学校	各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせて学ぶ授業づくり	全教科
志津南小学校	話す・つながる・深める授業を目指して、教師の授業力アップ3	全教科
草津小学校	学ぶ意欲を持ち、主体的に学習する児童の育成をめざして ～基礎・基本を身につけ、学ぶ喜びを実感できる算数科の学習を通して～	算数科
草津第二小学校	豊かな表現力を育み、自己肯定感を高める授業づくり ～国語科を中心に 学びを生かすことができる子どもの育成～	国語科
渋川小学校	学び合いを通して、お互いのよさを認め合い、 自信を持って活躍する子どもの育成	総合的な学習 生活科
矢倉小学校	主体的・対話的で深い学び ～自ら学び、交流する児童の育成から、深い学びのあり方を探る～	全教科
老上小学校	見通しを持って主体的に課題解決に取り組む子どもの育成（2年次） ～ICT 機器の有効活用と研ぎ澄まされた発問による思考の深まりをめざして～	全教科
老上西小学校	主体的な学びがうまれる授業 ～子どもの困り感から授業を創る・算数科と体育科を窓口として～	算数科 体育科
玉川小学校	友だちとの対話を通して、自分の学びを確かにする子を育てるⅡ ～対話的な学びを意識したふりかえりの充実～	全教科
南笠東小学校	学びをみがき、心豊かに、友だちや地域とつながり、よりよく生きようとする たくましい子どもの育成～『考え議論する道徳科の授業』を通して～	特別の教科 道徳
山田小学校	どの子にもやさしく「わかる」「できる」確かな学力を育む授業づくり ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導の工夫（授業改善）～	全教科
笠縫小学校	自ら考え、深め合う子どもの育成～学びをつなげる道徳科の授業を通して～	特別の教科 道徳
笠縫東小学校	人や物との関わりを通じた「話したい」「聞きたい」「考えたい」授業の創造 ～子どもたちの自信をつけ、意欲を高めるために～	国語科
常盤小学校	主体的・対話的で深い学びを実現する指導法の追究 ～子どもが伝え合い つながり合い 高め合う授業を目指して～	全教科
高穂中学校	社会で生きて働く力を育むカリキュラムマネジメント ～「学校教育目標」を軸に全教科をつなぐ～	全教科
草津中学校	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」 ～授業で「できる」という成功体験を積み重ね、自ら学ぶ力の育成～	全教科
老上中学校	「主体的・対話的で深い学び」に向けて考動する生徒の育成 ～新学習指導要領に係る授業改善と観点別学習状況の評価の在り方について～	全教科
玉川中学校	自ら課題を見つけ、協働の学びを推進し、解決をめざす生徒の育成	全教科
新堂中学校	仲間とともに考え・気づき・行動する力を育てる ～生徒の心に響く道徳教育の創造～	特別の教科 道徳
松原中学校	よりよい生き方を目指し、考えて行動する生徒の育成 ～「特別な教科 道徳」を実践するための授業改善と評価～	特別の教科 道徳

令和2年度 草津市教職員夏期研修について

〈今年度の研修について〉

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校の影響により、今年度は夏季休業期間が短縮されました。それを受け、予定していた教育研究所の夏期研修講座は中止となりました。

そこで、研究所では、オンライン講座を活用した新しい夏期研修を提案します。2講座以上を自主研修として御活用ください。

研修の進め方

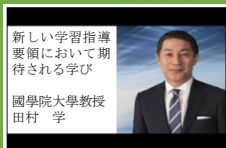
①研修のテーマを設定する

ぼくは、特別支援について、
もっと学びたいわ。



②「NITS 独立行政法人教職員支援機構」のサイトにアクセスしたり、「夏期研修ガイド」を見たりしながら、自分のテーマにあったオンライン講座(校内研修シリーズ)を2講座以上選ぶ。

授業づくり



新しい学習指導要領において期待される学び：校内研修シリーズ No4

本動画では、学習指導要領改訂の方向性を説明し、「どのように学ぶか」という学習過程の充実に向けて、3つのポイントに分けて考えていきます。単元や授業のきっかけや導入の場面、中盤の話し合いや学び合いの場面、終盤自分たちの考えを整理したりまとめる場面に分け、それぞれ事例を紹介しながら解説しています。



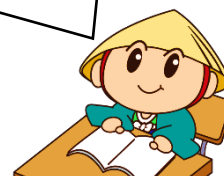
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて：校内研修シリーズ No25

「主体的・対話的で深い学び」における「深い学び」の具体像を提示し、実現に向けて大切となる「見取る」「つなぐ」授業やこれらの学びを促進するために必要な教師力などについて解説しています。

一つの動画は、20分～30分ぐらいななたび。
校内研究全体会や分掌部会、校内研修などで
みんなで視聴する方法もあるたび。
みんなで見ると、話し合いで深められるたび。

←ガイドの例

研修テーマごとにいくつかの
動画を紹介しています



③選んだオンライン講座(校内研修シリーズ)を視聴する。

④「振り返りシート」に記入する。

⑤各校の担当の先生に提出する。



詳細は、配布する『令和2年度夏期研修ガイド』をご覧ください。
多数ある動画の中から、よりよいものをピックアップしています。
短い夏季休業期間ですので、短時間で有意義な研修になることを願っています。

スキルアップ支援講座

☆ 新型コロナウイルス対応の「新しい日常」の中での授業を模索して…

ようやく第1回支援講座がスタートできました。

子どもが活躍



子どもに寄り添う



教材工夫でやる気 UP!



わかる授業を
めざして

ICTを
活用して

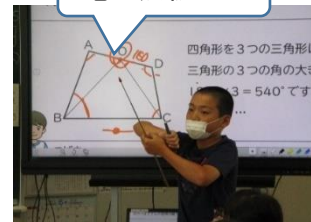
デジタル教科書で!



タブレット PC で!



電子黒板で!



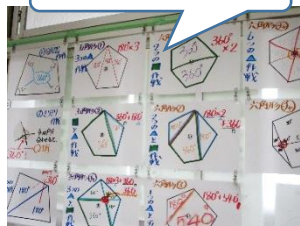
楽しい英語



学び合う姿



学習の足あとと掲示



協働学習に
チャレンジ!

第2回支援講座で行う予定でしたOJT推進リーダーなどの教員の授業参観は、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

☆ ICTを活用してスキルアップ!

今年度のICTスキルアップは、ペッパーをはじめ低学年向けの「Viscuit」(“めがね”を使う)や、「Scratch」(ネコが出てくる)を使ったプログラミング授業を支援しています。スタートが遅れましたが少しずつ「草津市プログラミングモデル教材(R2年度版)」による授業も始まっています。「たび丸ネット」にはScratchの教材やViscuitの準備などの情報が掲載されていますので「プログラミング」で検索してみてください。先生方の校務用パソコンですぐに使えるように"Robo blocks", "Scratch", "Viscuit"をブックマーク(お気に入り)に入れておきましょう。また、Eテレの「テキシコー」という番組は、パソコンは使いませんが、プログラミングを学ぶ面白い番組なので紹介しておきます。



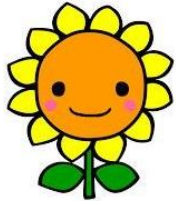
地図きごう
Viscuit(3年生・社会)



ローマ字の学習
Robo Blocks(4年生)



もようづくり
Scratch(6年生・図工)



やまびこだより



☎ 077-563-1270

たびすけDayのご案内

詳しい申し込み方法は各学校に送付している案内を御確認ください



たびすけDayとは・・・

市内の小・中学校の不登校および不登校傾向の児童生徒とその保護者の方々を対象にやまびこ教育相談室および適応指導教室の活動を見学、体験していただくとともに、スタッフとの相談や交流もしていただけます。開催日時等は下記のとおりです。

開催予定日		活動内容 (予定)
7月中旬	10:30 ~ 12:00	制作 (紙飛行機作り、紙飛行機飛ばし大会)
サマー スクール	夏季休業以外で 検討中	未定
10月上旬	10:30 ~ 12:00	室内レクリエーション (ボッチャ)
11月中旬	13:00 ~ 14:30	制作 (プラ板キーホルダー)
1月下旬	13:00 ~ 14:30	室内レクリエーション (囲碁ボール)



適応指導教室のコロナ対策

ご協力をお願いします!



○教室環境は、

- ・座席数を減らし間隔をあけて座るようにします。
- ・常に窓、ドアを開けて換気をします。
- ・ハンドソープを用意します。
- ・机にビニルを張ったついたてを利用します。

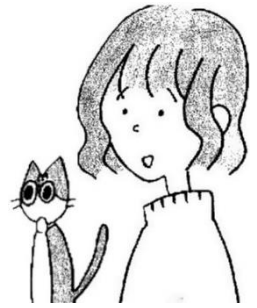
○開室前・閉室後の施設、使用器具などは消毒を徹底します。



○通室生へのお願い

- ・ご家庭での検温をお願いします。
(各学校の検温票を活用してください。)
- ・入室時の手指消毒、手洗い、マスク着用をお願いします。
- ・手拭きタオル、ハンカチはご持参ください。

スクールソーシャルワーカー SSW恒松先生が語る シリーズ教育相談



『子どもの貧困』

子どもの貧困率

『日本の子どもの貧困率が16.3%（2012年度調査）』という発表が厚労省から出され、日本中で注目を集めました。国も対策に乗り出し、対策法や大綱が作成されました。そして官民共に様々な取り組みを行った結果、2015年にはその数値は13.9%に下がりました。

ただ、改善傾向に見えても、この数値では7人に1人、つまりは平均すると1クラス（35人）に約5人の子どもが相対的貧困（絶対的貧困ではない）の状態にあることになります。

その国の文化水準、生活水準と比較して困窮した状態
世帯の所得が、その国の等価可処分所得の中央値の半分に満たない状態

*相対的貧困は見えにくい

義務教育期間中、相対的貧困は顕在化しにくいと言われます。

現代のデフレ社会では、低価格で衣料品や食品は手に入るため、絶対的貧困状態のように、やせ細って破れた衣服を着ている子はほとんどいない。

しかし…

- ▲部活もないのに、土日も制服を着ている
- ▲ゲーム機は持っているが、靴や上着は一着しかない
- ▲インスタント食品で空腹ではないが、野菜は不足している
- ▲部活に入らない
- ▲自転車に乗らない
- ▲歯医者に行かない

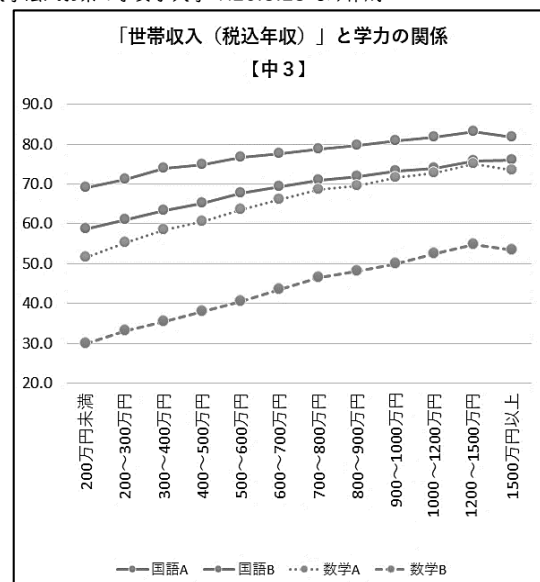
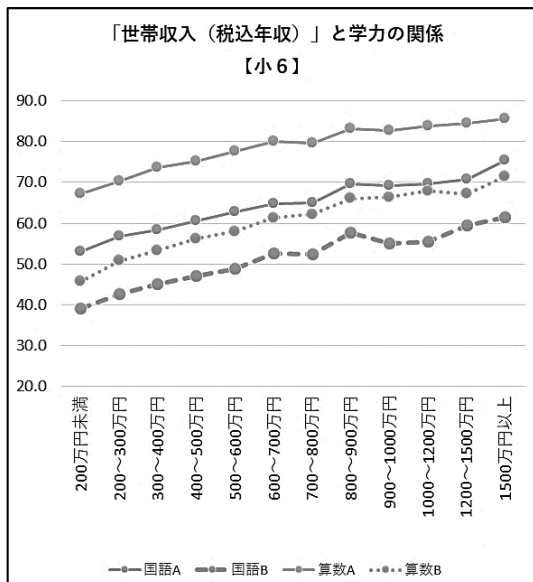


など、本人や家族の無精が原因に見えて、実は背景に貧困が隠れていることが多々ある。

*相対的貧困からくる影響

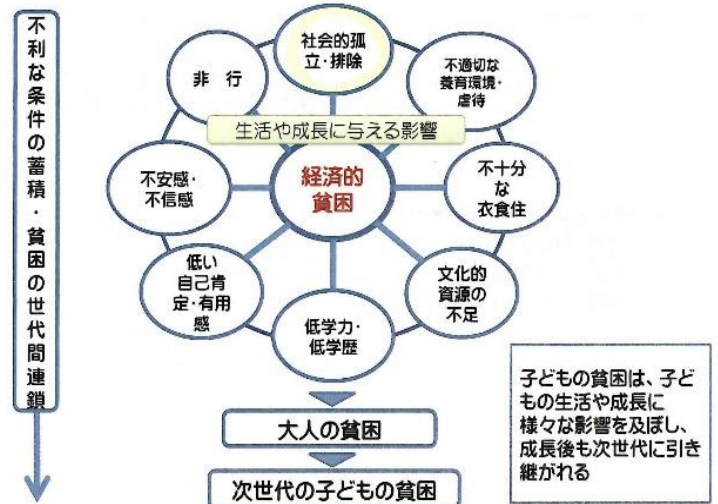
(引用) <https://jin-plus.com/academic-ability-income/>

平成25年度「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」
国立大学法人お茶の水女子大学 H26.3.28 より作成



家庭の年収と学力等の関係を調査してみると、その数値は相関関係があり、彼らは人生のスタート地点で既に、歴然とした不利を抱えていることがわかります。さらに、貧困がもたらす子ども達の生活状況は、彼らの学力だけでなく心身の健康や安定、体験、人間関係にまで影響を及ぼしており、その不利が連鎖して子ども達の困難さを増幅させています。

また、日本社会の中で構造的に生み出される格差の拡大とその固定化（世代間連鎖）は、子ども達の中に「あきらめ」「無気力」「漫然と横たわる不安」を植え付け、もはや自力でその状況から抜け出すことは不可能です。



*体験の不足

体験事業の一環で子どもたちと海水浴に行った時のことです。ある5年生の女の子が、海で泳ぎながら『プール以外の所で泳ぐの初めてや!』と言いました。そして、自分が思わず口にした言葉にハッとして、少し恥ずかしそうな顔をしました。そして、帰りの車の中ではボソッと『これで今年は宿題の絵日記描ける。』と呟きました。

日常の彼女の偉そうな話しぶりや横柄な態度からは見えにくかったのですが、毎年の夏休みの宿題は「出さなかった」のではなく「出せなかった」のです。

その他にも、「家族旅行に行ったことがない。」「一度もお鍋料理を食べたことがない。」「お正月やクリスマス、誕生日を祝ったことがない。」など、誰もがしていると思われる楽しい体験をしたことがない子がいます。



教室や学校の帰り道でそのような話が出ると、彼らは笑顔で黙ってその場をやり過ごすと言います。

*早期支援の必要性

子どもの貧困は外から見えにくいものです。その為支援は遅れがちになり、大人になる前に取り返しのつかない課題を彼らに背負わせてしまうこととなります。「貧しい」＝「貧困」ではありません。

「貧しさ」+「困った時に誰も助けてくれない」ことで貧困になります。

誰かが少しでも早く気づき、手を差し伸べることで貧困の連鎖は止めることができます。教育現場は、その大きな機会の一つだと言われています。

教室で「できない」「しない」「わからない」という子どもの背景にあるものに気づき、注意するかわりに「(しんどい中で)よく頑張っているね」と声をかけ、必要な支援につなぐことで、前を向いて進み続けられる子ども達があります。





シリーズ 司書さんおすすめの絵本



「まめまめくん」

(デヴィッド・カリ/文 セバスチャン・ムーラン/絵 ふしみ みさを/訳 あすなろ書房)

まめまめくんは、豆粒ほどの小さな男の子です。元気いっぱい、遊びも泳ぎも読書も何でも得意でした。でも学校に入り自分がものすごく小さいことに気づきます。学校では小さすぎてできないことばかりで、先生も将来を心配します。まめまめくんはどんな大人になるのでしょうか。

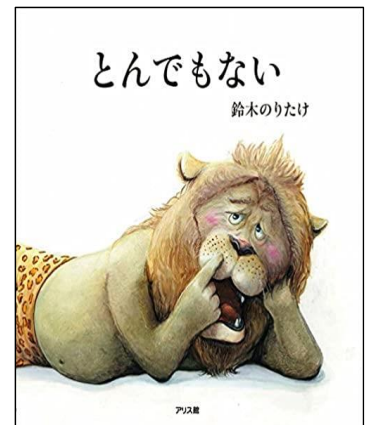
人とちょっと違う子にエールを贈る絵本です。主人公に合わせた小型の本で、細やかな絵からは工夫しながら自分らしく日々を楽しむ姿が伝わり、幸福感が味わえます。



「とんでもない」(鈴木 のりたけ/作・絵 アリス館)

特別なところが何もないとこぼす男の子。鎧よろいのような皮を持つサイサイを羨うらやみ「サイはいいなあ」とつぶやくと、「とんでもない」とサイが現れ、皮が重くてどんなに大変か告白します。サイは身軽なウサギを羨うらやみ、ウサギはクジラをと羨望せんぼうのバトンはどんどん続いていきます。

動物達の表情とユーモラスな語りで、長所は短所に、短所は長所にもなり得ることを気づかせてくれます。ありのままの自分を受け入れられ、前向きな感情が湧いてきます。



「かようびのドレス」

(ボニ・アッシュバーン/文 ジュリア・テース/絵 小川 糸/訳 ほるぷ出版)

女の子には火曜日に着ると決めているお気に入りのドレスがあります。ところが丈が短くなり、着られなくなってしまいました。悲しむ女の子にママは、「『逆転の発想』が大事」と言って、シャツにリメイクしてくれました。その後もママはドレスを様々なアイテムへと変化させます。

物を大切に作る心を育て、考え方を変わると新たな喜びも生まれることを教えてくれます。自分だったらどんな風にリメイクしようか想像してみるのも楽しいでしょう。



読み聞かせにご活用を